



# とっさの時のあんしんケース 利用の手引き

## とっさの時のあんしんケースとは？

高齢の方や障害のある方など、特に急病等緊急時に不安のある方を対象に、地区社会福祉協議会（地区社協）が専用の容器（ケース）、緊急連絡表、シール（2枚）を使ってとっさの時への備えを支援する事業です。

かかりつけ医や持病などを記入した緊急連絡表等を専用の容器（ケース）に入れ、自宅の分かり易い場所（冷蔵庫等）に保管し、保管していることシールで示し、急病時等とっさの時の迅速な対応を促します。

とっさの時にあなたを発見した人が、持病や服薬等の医療情報を確認することで迅速な処置や緊急連絡先が記入されていることで、ご親族等からの迅速な協力が得られます。

また、災害時の避難時に持ち出すことにより、避難場所での適切なケアを受ける一助になります。

お渡しするもの

シール2枚

ケース

緊急連絡表



冷蔵庫に入れた場合

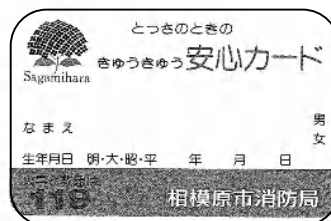


## ワンポイントアドバイス！

あんしんケースは自宅に保管するものです。

外出先での緊急時に対応するものとしては市消防局が発行している「きゅうきゅう安心カード」があります。

名刺大でお財布にも入り、裏面に連絡先やかかりつけ医等を記入できます。希望者にはお渡しします。



## 利用できる人は？

地区内に在住の次のどれかで申請（代筆可能です）を行なった人です。

- (1) 65歳以上の人
- (2) 障害のある人
- (3) その他会長が適当と認める人

住所	
自宅電話番号	血液型
家族等連絡先	住所 氏名
協力者等	住所 氏名

持病やかかりつけの医療機関等を記入して下さい

## あなたの情報は？

緊急時の対応や更新のお知らせをするため、あなたがケースを利用していることは地区社協、相模湖地域包括支援センター、担当地区の民生委員に情報提供されます。※情報はケースを開ける緊急時まで、知られることはありません。

### ワンポイントアドバイス！

ケース内の情報はあなたのものです。あなたの意志で開示することは何の問題もありません。例えばさらなる安心の為に信頼する方へ緊急連絡表のコピーを渡しておく等も可能です。また、記入も信頼する方に代筆いただいて構いません。

## ケースに入れておくもの

緊急連絡表(お渡ししたもの)・診察券(写)・健康保険証(写)・薬剤情報提供書(写)又はお薬手帳(写)を入れてください。

申請時に持参いただければ必要な書類のコピーを行ないます。

### ワンポイントアドバイス！

ケース内の情報は常に最新のものにしてください。情報が古いと「とっさの時」に適切な処置を受けられなくなってしまいます。

そのため地区社協では年1回「更新のお願い」を郵送します。また、お知らせと共に、地域包括支援センターや民生委員からお声かけを行ないます。

## 使い方

ケース→所定の書類を入れたものを分かり易い場所に保管します。緊急時にあなたを発見した人(救急隊員等)はすぐにケースを探し出す必要があるからです。

### ワンポイントアドバイス！

ケースをしまっておく分かり易い場所として地区社協では冷蔵庫を推奨します。その理由は、冷蔵庫はほとんどの家庭で台所にあるので、ケースの在り処を探しやすいからです。

シール→保管している場所の近く(冷蔵庫の場合は右上)に1枚、玄関ドア(原則内側)に1枚貼り付けてください。ステッカーを見れば、ケースがあることが分かり適切な対応ができます。

※ケースやシールを破損、紛失した場合は交換します。

## 費用は？

本事業は皆様からの賛助会費により運営されています。

利用者のご負担は無料です。

この事業には賛助  
会費が活かされてい  
ます！皆様のご協力  
に感謝いたします。

「ありがとう」  
「どういたしまして」  
で包まれる心のふれ  
あうまちづくりを目  
指して

相模湖地区社会福祉協議会

## お問合せは？

相模湖地区社会福祉協議会 ☎042-649-0202

相模湖地域包括支援センター ☎042-685-1538